



# 協議会代表者および 新任事務局長研修会

平成30年6月23日(土)

平成30年度協議会代表者および新任事務局長が集まり、研修会が行われました。PTAの歴史・なりたちから、成人教育・家庭教育の重要性、日本PTAの事業説明などが行われました。

また、午後からは独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長 鈴木みゆき氏をお迎えし、子ども達の豊かな育ちを考える〜日本PTAとともに〜をテーマとした講演が行われました。

続いて、総務企画部総務企画課長 下田力氏より、〈青少年教育施設で行うPTA活動〉(子供たちの体験研修会など)のすすめをテーマに講演が行われました。

## 《研修内容》

- 社会教育と日本PTA
- ・成人教育について
- ・家庭教育について

- 公益事業説明①
- (公1) 全国大会事業について
- (公2) 調査研究事業について



鈴木みゆき氏



五十川泰史氏



下田力氏

- (公3) 表彰事業について
- (公4) 広報事業について
- (公5) 国際交流・研修事業について
- (公6) 教育支援助成事業について

## ◆講演

〈国立青少年教育振興機構の役割〉  
子ども達の豊かな育ちを考える〜日本PTAとともに〜  
独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長  
鈴木みゆき氏

〈青少年教育施設で行うPTA活動〉  
(子供たちの体験研修会など)のすすめ  
独立行政法人国立青少年教育

## 協議会連絡会

平成30年7月26日(木)



協議会連絡会の様子

育振興機構 総務企画部  
総務企画課長 下田力氏  
○日本PTA国内研修事業について

国土交通省 道路局 環境安全課 道路交通安全対策室 室長 五十川泰史氏  
http://seikatsudoro.tsukuru-su.com/  
○公益事業説明②

64 地方協議会代表者ならびに事務局長が一堂に会し、行政説明ならびに PTA が抱える今日的な課題、公益事業の詳細について、共通認識の確認が行われました。

## 【行政説明】

スポーツ庁  
政策課学校体育室 室長 塩川 達夫氏  
文部科学省  
初等中等教育局健康教育・食育課安全教育調査官 吉岡 直子氏  
文部科学省  
初等中等教育局教育課程課

## ○協議会代表者会

64 地方協議会の代表者が集まり、平成30年度各委員会の活動の方向性について説明が行われました。

協議会の活動事例として、福島県 PTA 連合会、熊本県 PTA 連合会の活動が紹介されました。

また、2020年の全国大会の開催について、東川会長

## 総合戦略会議がスタート

これまで会長諮問機関として日本 PTA の抱える各種の課題について機動的・戦略的な審議を行う企画戦略会議(平成27年7月21日理事会承認 尾上浩一議長)、広報戦略会議(平成29年5月19日理事会承認 寺本充議長)を設け、協議会元代表者や文部科学省はじめ外部有識者の方々の協力を得て会長へ答申等をしてきました。

それらは定款および定款施行細則の変更、役員選考のあり方等の変更、内部統制の強化等の実現、持続可能な組織としてのあり方並びに公益事業、収益事業および法人運営に関する事業内容等の再検討、全国研究大会運営マニュアル発行、健全な財務体質と安定的な収益構造を実現する中長期展望検討、PTA 活動支援の各種書籍・パンフレット等の発行を行ってきました。

また本年度が日本 PTA 創立70周年にあたることから、記念誌発行に向けた編集委員会、記念シンポジウム(平成31年1月27日)および記念ホームページおよび記念グッズ

より富山県 PTA 連合会 水谷会長に委任状が手渡されました。

1. 総務委員会より報告
2. 教育問題委員会より報告
3. 環境対策委員会より報告
4. 厚生委員会より報告
5. 協議会活動事例紹介  
・福島県 PTA 連合会  
・熊本県 PTA 連合会
6. 教育支援助成事業

各戦略会議進展に伴い任務を終えたワーキンググループ、プロジェクトチームがある一方、合同で取り組むべき内容も多くなったことから両戦略会議を発展的に解消し、社会教育関係団体である公益法人として必要な重要事項を総合的かつ戦略的に調査審議、検討、提言等を行うため「総合戦略会議」(平成30年5月18日理事会承認 寺本充議長)を組織し7月19日初会議を行いました。

構成員として日本 PTA、三役、元役員、協議会元代表者、文部科学省をはじめ外部有識者等の知見を借りながら審議を進めますが、随時協議会代表者や関係者にもお願ひする予定です。協力ください。

設置される WG・PT 等は次の通りです。

- 組織のあり方 WG
- 規程等整備 WG
- 指導者講習 WG
- 出版・編集 WG
- 事業企画検討 WG
- 70周年記念誌編集委員会
- シンポジウム実行委員会
- 予算委員会

## 日本 PTA 全国協議会 70 周年記念誌の発行に向けて

公益社団法人日本 PTA 全国協議会  
70 周年記念誌編集委員会  
北川和也

平成29年12月に、日本 PTA「未来に向けて」を題材に、各界の方々と共に語る座談会も開催します。この2本立ての座談会が大きな柱となり、また、「教育の変遷と PTA 70 年」や公益事業の紹介・関係機関とのつながりなども、この70周年記念誌の目玉となるでしょう。

現在まで、各担当が情報収集や執筆に入っており、11月21日に発行される70周年記念式典の内容も入れ込み、平成31年3月の発行に向け編集作業が行われています。

10年毎に発行されている重みのある記念誌にも引けを取らないようにと考えています。

この10年で大きな変遷があった「公益社団法人」を捉え、なぜ公益法人なのかその意義を、立ち上げ当時の方々に語っていただく座談会を設けました。そして、これからの日本 PTA を

## 主な内容(題名は仮題)

- 第一篇 PTA の発足と70年の軌跡
- 第一章 教育の変遷と PTA 70 年
- 第二章 日本 PTA 新聞で振り返る70年
- 第二編 公益社団法人への道
- 第一章 記念座談会「公益法人への道、飛躍する日本 PTA」
- 第二章 公益社団法人を振り返る(H25〜30年)
- 第三章 日本 PTA が取り組む公益事業
- 第四章 関係機関・教育関係団体との協力
- 第三編 未来を切り拓く日本 PTA の展望
- 第一章 記念座談会「未来を切り拓く」
- 第二章 書籍から見る PTA
- 第四編 地方協議会10年の歩み
- 第五編 年表・資料編

# 協議会懇談会

## 社会教育関係団体としての新たな取組



平成30年7月27日に全国より、各協議会の代表者、副会長、事務局長(153名)の参加により、公益社団法人日本PTA全国協議会では、初めての試みとして、全国よりファシリテーターとして社会教育主事を参集し、社会教育の在り方、社会教育主事の説明、PTAと社会教育の関係性等の講話、ワークショップ(5分科会)協議会懇談会を開催した。



**内容**  
1 社会教育、社会教育関係団体の概要説明  
2 5名のファシリテーターより、各テーマ(自己紹介含)に沿い、説明  
3 協議会により、各分科会(5分科会、20グループ)にて、KJ法による課題の集約  
各グループより、意見課題発表  
4 各分科会の課題意見への社会教育主事による指導・助言

**社会教育主事 各分科会のテーマ**  
【第1分科会】4グループ(30名) テーマ 「社会教育関係団体としてのPTAの役割」  
協 議 PTA市区町村組織役員にPTA活動の役割、必要性をどう説くか  
説 明 社会教育、社会教育関係団体とはなにか



**【第2分科会】4グループ(31名)**  
テーマ 「PTA活動を支える支援者」  
協 議 PTAの諸活動(会議・研修・研究)の効果・成果をあげるため社会教育行政職員とどのように関わるとよいか  
説 明 「社会教育主事」など社会教育主事の業務内容(PTA関連) ファシリテーター 大分県教育庁社会教育課 主任社会教育主事 兼 主任社会教育主事 兼 補佐(総括) 石井 圭一郎氏



小林 雄氏

**【第3分科会】4グループ(30名)**  
テーマ 「家庭教育支援を推進するPTA活動」  
協 議 家庭教育支援を推進するPTA活動  
説 明 家庭教育支援とはなにか  
ファシリテーター 三重県教育委員会 事務局社会教育・文化財保護課 主任 兼 社会教育主事 (班長代理) 筒井 昭仁氏



石井 圭一郎氏

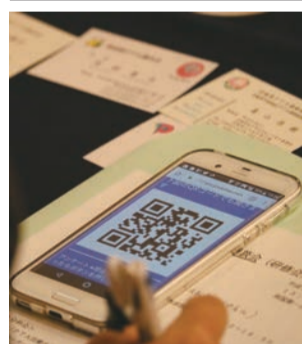


**【第4分科会】4グループ(31名)**  
テーマ 「PTA活動と行政の連携・協働」  
協 議 教育行政とPTAの望ましい関係  
説 明 教育行政は、PTAになにを期待しているのか  
ファシリテーター 島根県教育庁社会教育課 社会教育主事 糸賀 真也氏



糸賀 真也氏

**【第5分科会】4グループ(31名)**  
テーマ 「PTA活動を地域に広げるには」  
協 議 直面する課題を地域住民と共に解決する環境を醸成するため、どのようにPTAが地域社会と関わるべきなのか  
説 明 地域、生活課題の捉え方と多様な主体との連携協働  
ファシリテーター 長崎県教育庁生涯学習課 参事 椋本 博志氏

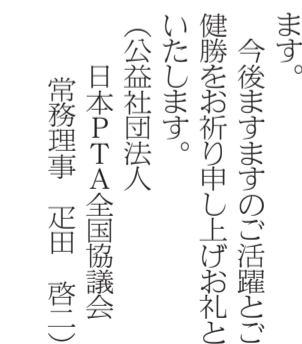


全国64地方協議会では、行政・社会教育主事をはじめ、社会教育に対する考え方、活動がさまざまであることが改めて確認することができました。社会教育活動の享受ならびに指導・助言は、非常に内容の濃い、意義深いものとなりました。全国各地に社会教育の重要性を発信、伝達し、社会教育関係団体としての活動に繋がっていくと感じました。



椋本 博志氏

今後このような研修会を定期的に開催する予定でございますので、全国の社会教育主事との交流・連携を進めていただきたいと考えています。参加して頂いた社会教育主事の方々には、社会教育活動のご享受ならびに指導・助言を賜わりまして誠にありがとうございました。今後とも指導・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



今後ますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げます。 (公益社団法人 日本PTA全国協議会 常務理事 正田 啓二)



**社会教育の目的**  
学校教育以外に、主として青少年や成人を対象に行われる組織的な教育活動。  
社会教育に関する基本的な法律。社会教育の意義、社会教育に関する国および地方公共団体の任務専門職としての社会教育主事、社会教育関係団体との関係などについて規定。  
**社会教育法(抜粋)**  
(社会教育関係団体の定義) 第10条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であるか否かを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。  
(文部大臣及び教育委員会との関係) 第11条 文部大臣及び教育委員会は、社会教育関係団体の求めに応じ、これに対し、専門的技術的指導又は助言を与えることができる。  
2 文部大臣及び教育委員会は、社会教育関係団体の求めに応じ、これに対し、社会教育に関する事業に必要な物資の確保につき援助を行う。  
**社会教育主事とは**  
都道府県や市町村の教育委員会に置かれる専門的職員。地域社会における生涯学習普及の担い手として、学校以外で社会教育活動をする人に対して助言や指導などを行う職務である。

### 第40回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞校一覧

賞	小学校PTAの部	中学校PTAの部
文部科学大臣賞	<GOGOえんざん> 福井県福井市円山小学校PTA	<こゆるぎ> 神奈川県大磯町立大磯中学校PTA
日本PTA全国協議会 会長賞	<うめがおか> 茨城県水戸市立梅が丘小学校PTA	<みどり> 北海道岩見沢市立緑中学校PTA
	<ふれあい> 神奈川県綾瀬市立綾西小学校PTA	<ウェーブ> 北九州市立小倉南特別支援学校保護者教師会
	<徹明さくら> 岐阜県岐阜市立徹明さくら小学校PTA	<夢つるや> 大分県佐伯市立鶴谷中学校教育友会
日本教育新聞社 社長賞	<Jump!!> 岩手県滝沢市立滝沢第二小学校PTA	<こもれび> 福島県福島市立飯野中学校父母と教師の会
	<トライアングル> 富山県南砺市立福野小学校父母と教師の会	<森> 岐阜県岐阜市立長森中学校PTA
教育家庭新聞社 社長賞	<やよい> 岡山県津山市立弥生小学校PTA	<かじか> 鳥取県三朝町立三朝中学校PTA
	<水目沢> 青森県八戸市立桔梗野小学校父母と教師の会	<牟礼中PTAだより 翔> 香川県高松市立牟礼中学校PTA
企画賞	<空はるか> 長崎県南島原市立有馬小学校PTA	<紫原> 鹿児島県鹿児島市立紫原中学校PTA
	<marico> 静岡県静岡市立長田西小学校PTA	<はなゆい> 岩手県花巻市立花巻中学校PTA
写真賞	<さくら草> 埼玉県戸田市立戸田第一小学校PTA	<西谷中> 横浜市立西谷中学校PTA
	<くすのき> 岡山県玉野市立田井小学校PTA	<ゆうせん> 福岡市立友泉中学校PTA
レイアウト賞	<こんにちは。> 北海道帯広市立啓北小学校PTA	<いほはらの里> 静岡県静岡市立清水庵原中学校PTA
	<礪川> 東京都文京区立礪川小学校PTA	<家族のチカラ> 福井県坂井市立丸岡中学校PTA
佳作	<くりはら> 東京都足立区立栗原小学校PTA	<華陽> 山口県防府市立華陽中学校PTA
	<立志> 富山県富山市立西田地方小学校PTA	<かがやけ> 福岡県飯塚市立飯塚第二中学校PTA
	<けやき> 香川県さぬき市立長尾小学校PTA	<あすなる> 長崎県五島市立奈留小中学校愛育会
	<ささおか> 福岡市立笹丘小学校PTA	<かけはし> 長崎県南島原市立口之津中学校教育友会
	<まつしま> 福岡市立松島小学校父母教師会	<紙・飛行> 大分県日田市立大山中学校教育友会
	<しおさい> 長崎県南島原市立野田小学校PTA	<大樹> 宮崎県日向市立財光寺中学校PTA
	<広報つるおか> 大分県佐伯市立鶴岡小学校PTA	<いちまん> 沖縄県糸満市立糸満中学校PTA
	<まかんちゅ> 沖縄県那覇市立真嘉比小学校PTA	<みいはま> 沖縄県北谷町立桑江中学校PTA

### 第40回全国小・中学校PTA広報紙コンクール

**文科大臣賞に**  
**福井県 福井市円山小学校PTA**  
**神奈川県 大磯町立大磯中学校PTA**

### 小・中各22校が入賞 11月に表彰式

8月9日、日本PTA会議室において、第40回全国小・中学校PTA広報紙コンクールの最終審査が行われ、入賞作品が決定しました。審査対象は、平成29年度4月1日から3月31日までに発行された広報紙のうち、2回以上発行されたPTA発行の広報紙で、今年度の応募総数は4934校(小学校3327校、中学校1607校)となりました。各地方協議会での第1次審査を通過した597校(小学校363校、中学校234校)の中から、日本PTA全国協議会における第2次、第3次審査、そして最終審査を経て、PTA広報紙の持つ目的・使命・記事・編集・レイアウト・見出しなどの評価が総合的に優れていた小学校22校、中学校22校の計44校の広報紙作品が受賞の栄誉に輝きました。

また一昨年度より、広報に関する研究会で連携を深めた全国の教育団体による審査が行われ、より深い学識的見地から審査が行われました。表彰式は、11月21日の日本PTA70周年記念式典にて行われます。

### 広報紙コンクール 審査会ルポ

8月6日に開催された広報紙コンクール第三次審査会には、教育関係団体の皆様の全面的なご協力のもと、熱気あふれる審査会が行われました。審査基準を確認したうえで、二次審査を突破した200点もの広報紙一つ一つ、丁寧に目を通し、厳正なる審査が行われました。



第三次審査の様子



第二次審査の様子

《審査員コメント》  
○ポイント  
・審査を行ううえで、ページのボリュームがあるもの、年間発行部数が多いもの、やはり印象に残りやすいグラフだけでなく、座談会や調査分析を行うことで、より良くなるものが多かった。

○伝え方  
・広報紙を読むと、教職員と保護者の関係がうまくまわっているのが伝わる広報紙がある。そういったものは、学校の様子がよくわかる。広報紙を通じPTA活動がわかり、地域との繋がりが見えるものは特に優れている。

・正面からPTAの問題を扱っている広報紙の評価が高い。PTAとは何か向き合い、アンケートを実施しつつ大切なものは何かを訴えている広報紙が素晴らしい。写真も良いが、中身の濃さが重要。  
・何を特集しているかも大事である。小学校は食育・防災・安全環境が多く、中学校は進路・職業訓練の他、

・地域との連携で、地域ボランティアの方も写真で掲載されているものがあり、これに特集などがあれば、より読みごたえがあるものになった。  
・良い活動をしているのに、広報の仕方が下手なのか伝わらない所も多く、見せ方を考えれば格段によくなるものも多い。  
・防災マップは活用する子ども目線で描かれたものが秀逸だった。また「こども100当番の家」も、写真つ

#### 第40回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール審査委員

第三次審査		
全国連合小学校長会	広報部長	戸倉 務
全日本中学校長会	会計部長	宮澤 一則
公益社団法人日本教育会	事務局長	常盤 隆
全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	副会長	中川 博喜
(一社)全国高等学校PTA連合会	常務理事・事務局長	内田志つ子
全国国立大学附属学校PTA連合会	会長	呉本 啓郎
日本教育新聞社	取締役・編集局長	矢吹 正徳
教育家庭新聞社	代表取締役	菊池 清広
(公社)日本PTA全国協議会	常務理事	疋田 啓二
最終審査		
文部科学省 生涯学習政策局	社会教育課室長補佐	佐藤 貴大
日本教育新聞社	取締役・編集局長	矢吹 正徳
教育家庭新聞社	代表取締役	菊池 清広
(公社)日本PTA全国協議会	会長	東川勝哉
	役員	8名

(敬称略)

8月9日の最終審査会では、第三次審査での先生方のご意見を参考に、今年度優秀作品を選出した。最終選考に残る作品はどれも甲乙つけがたく、選出には難航を極めた。今年度優秀作品賞を受賞したのは、上記の学校となります。おめでとうございます！

優秀作品に選ばれたPTAの広報紙は、「優秀広報紙作品集」として発行されます！全国の広報委員の皆さんは、是非受賞ポイントを確認しながら参考にしてみてください。



第三次審査の様子



最終審査の様子

# 広報紙コンクール入賞常連校に聞いた！ 広報紙を作るポイント★

## 富山県南砺市立福野小学校

富山県南砺市立福野小学校父母と教師の会は、優秀広報紙コンクールに7年連続入賞をしている強豪校です。今年も日本教育新聞社長賞を受賞しましたが、広報紙作成について、ポイントをお伝えします！

Q 広報紙を作成する際、どのような話し合いをしているのですか？

A 自分(2011年度会長・山口)が会長の年度広報紙はPTA活動よりも子ども写真のほうに注力している広報紙でした。それを見て、「これはPTAの広報紙ではないのでは？」

# 東日本大震災支援事業報告

常務理事 疋田啓一



横浜マリノス社長 黒澤良二氏(右から2番目)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の支援事業として、募金活動「心のぎざぎざ61キャンペーン」として5年間の活動を行いました。

現在も自由な生活を送られている方もおられますが、昨年度をもって本事業の活動(募金)を終えました。

東日本大震災発生後より、横浜市立篠原中学校の生徒たちが横浜F・マリノス(サッカー)のホームゲーム(年間5ゲーム)時に日産スタジアムにて募金活動を行っていただきました。

その活動に横浜マリノス株式会社、選手を含め、関係者の皆さまにも賛同いただき、5年間で二百四十一万七千五百七十円の支援金をいただきました。

平成30年9月1日に横浜市PTA協議会 長島元会長とともに、横浜市立篠原中学校 鈴木校長、田原前校長、熊切前教諭へのお礼と報告を行いました。

その後、横浜マリノス株式会社 社長 黒澤良二氏へのお礼と事業報告を行いました。

全国より三億五千三百三十万三千二百八十五円の募金がありました。「就学支援金」「教育支援助成事業」に全額使わせて頂いたことを報告いたしました。

Q 多くの執行部と各委員会との距離は縮まることはありますか？

A (上記の事例をふまえての) 広報委員会の印象として、執行部目線：各委員会との距離を縮めていきたい。広報委員会目線：広報委員ばかりが(週一で委員会など)忙しくて大変だ！

★ 一般会員目線：広報委員会は忙しそうなので広報委員だけが、やりたくない！

★ 素晴らしい広報紙を『私も作成に関わってみたい』と思ってもらえるように「良いトライアングル」に変えていければ

Q 福野小学校さんの広報紙は特に特集が秀逸で「子どもたちを取り巻くインターネット事情」「これからのPTA」をはじめ、保護者の興味をひき、非常に読み応えがあるのですが、そういった特集はどのように、どなたが決定するのですか？

A 広報委員の方々が委員会などのような記事を作ればいいのかを悩みを絞って真剣に考えるのではなく、まずはPTA、学校、子供などは関係のない雑談を通して委員同士が仲良くなることから始め、打ち解け合うことで活発な意見交換ができ、その結果が良い紙面に表れてくるのだと思います。

● 特集を決定するのは、ほとんどの場合広報委員会主導で行われます。

Q 広報委員さんの活動を教えてください。また、PTAの本部役員の方の意見は、どれくらい反映されるのですか？

A PTA行事の取材はもちろんですが、多い時には週に一度の委員会を開催しています。週に一度の委員会というと驚かれますが、これは上記にもありますが、関係のない雑談を通して委員同士が仲良くなることで発行間際の校正作業などのため、決してネガティブではなく(できる範囲で)ポジティブで行なって広報経験者の方からは大変なこと以上に楽しかったとの意見をいただいています。

● 本部役員の意見の反映は、今年度は活動予算に応じて昨年度でのフルカラーから2色刷りの紙面に変更するなどありますが、基本的にPTA活動をしっかりと掲載していただければ、委員会主導で広報紙は作られます。

Q 広報委員さんは毎年変わりますが、それでも高いクオリティを維持するために、どのような活動(話し合い)をされているのでしょうか？

A ● 前年度の委員長や委員経験者がアドバイザーという形で次年度以降も広報委員会に携わっていただいております。また、上記にもありますが「委員同士が仲良くなる」ことが高いクオリティを維持することに繋がっていると思います。

Q 福野小学校父母と教師の会にとって、広報紙とはどのようなものでしょうか？

A ● 少子化の影響で児童数が減り、そしてPTA会員数も減ることなどで活動費も減っています。その中で広報紙発行にかかる費用もバカにならないので、PTA活動を制限しては本末転倒だと思います。ホームページやSNS

Q 最後に、福野小学校父母と教師の会の特色ある活動をご紹介いただけますか？

A 2000年度よりPTAが中心となり、アメリカのオレゴン州ポートランド市立リッチモンド小学校の児童を毎年受け入れています。



リッチモンド小学校との国際交流

など低価格、あるいは無料で発信することはできません。それでも実際に手に取って読むことができる紙媒体の広報紙には、最低限のお知らせの手段として以上に、広報委員会の想い父母と教師の会の想いを会員に伝えることで次の行事、次の活動に、より多くの会員の参加を促し、その結果、さらに良い活動ができることに繋がる。広報紙「トライアングル」は父母と教師の会にとって、とても大切なものです。

クラスメイトを受け入れていきます。お互いが、考え、習慣、また、環境が違うことを授業の中から実感し、国際感覚が自然と身に付く貴重な経験となります。

日本を体感してほしいという思いから、世界遺産である五箇山合掌造り集落へ見学に行ったり、さらさら作りや紙すき、蕎麦打ちや餅つきなどの体験学習も取り入れ、大変好評です。

夏休みに行われる学級対抗ドッジボール大会は、PTAが企画から当日の設営・運営までを行う一大事業です。市内の最も大きな体育館を貸し切り、全6コート

子どもたちの、がんばりや笑顔が体育館いっぱい溢れ、クラスの絆も深まる、福野小学校夏の特別な1日となっています。

## 第40回全国小・中学校PTA広報紙コンクール優秀広報紙作品集

### 「読ませる紙面」アイデア満載

PTA役員の中でも、敬遠されがちという広報委員。苦勞も多い反面、1年間の活動後の充実感、達成感を口にする委員も多い。初めての広報に戸惑う委員にとっても、他の学校の優れたPTA広報紙をたくさん見られるのが本書である。

本協議会が主催する小・中学校PTA広報紙コンクールで入選した44作品の紙面で構成した「作品集」がこの度刷新されます。

文部科学大臣賞、日本PTA全国協議会会長賞から佳作まで収め、それぞれの良さを伝えています。(例えば、インパクトのある表紙には、子どもたちの躍動する大きな写真や、他の会員に知ってもらおうと活動が見やすいレイアウトで配されていたり。平均すれば、年3回程度の発行の中で、インタビューあり、座談会あり、独自の調査ありと、「たくさんの汗」をかいて作られている紙面が盛りだくさん掲載。登場する人物も会長、校長、教職員にとどまらず、地域にあって学校を支える人たちの笑顔や活動を見ることもできる。保護者目線の情報にあふれる。)

刷新のポイントとしてそれぞれの作品に、より具体的な「審査講評」も付けて、見どころとともに作る際の参考になります。また巻末に置かれた「こう作る 読みたい広報紙 読ませる広報紙」は、新聞社の編集長に完全監修をお願いし、広報紙作りのポイントを簡潔、的確に示してもらいました。ちょっとした工夫やアイデアなども提示し、独自の紙面作りを応援しています。(1,296円 日本教育新聞社 発行)



子どもたちの、がんばりや笑顔が体育館いっぱい溢れ、クラスの絆も深まる、福野小学校夏の特別な1日となっています。

トを同時に使用する大掛かりな大会となっています。夏休み中にもかかわらず、ほとんどの子どもたちが参加し、保護者や教職員をはじめ、地域の方たちも多く来場されます。夏休みの習慣である朝のラジオ体操後に練習を積み重ね、当日に臨みます。大会当日はPTA会員の多くが様々な役割を担い、先生方の協力のもと慌ただしく動き回りながら大会を運営します。

# PTAわが家の子育て

## 〜悩める子育てで楽しい子育て〜

### が発刊しました!

編集・出版委員 西村澄子

家庭教育は、全ての教育の原点として、子どもが基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観や正義感、社会的マナーなどを育成する上で重要な役割を果たすものです。

しかし、家庭教育の低下が指摘される中、少子化や都市化、核家族化、地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭を巡る状況の急激な変化の中で、親の過保護・過干渉や無責任な放任、育児不安やしつけへの自信喪失等、様々な問題が生じているのが現状です。

その中で、各学校のPTAにおいても、危機感を持ち、「家庭教育の重要性はPTAから!」と、それぞれの発想で長く、きめ細く重点を置いて実践をされているように思います。では、その教育はどんなものでしょうか?

家庭で教えるべき教育のことを家庭教育と解釈するのなら、保護者が家庭で教えるべきものはどのようなものなのでしょうか?

子どもに伝えるべきことは? それらは、各家庭で微妙に違つて感じます。親が口にする言ひや、家訓のよきな家庭のルール等、皆様が育つた思い出の中にあったかと思えます。



A5変型  
1700円+税(PTA会員価格)  
※お申込は日本PTAホームページからお願いいたします。

公益社団法人日本PTA全国協議会は、「家庭の数だけ家庭教育がある」と感じ、今回、86の事例の家庭教育を紹介いたします。

共感できる家庭教育、学ぶことができる家庭教育、我が家とはまったく違う家庭教育等、たくさんのご家庭教育があります。そのどれもが、その時間を真剣に子どもと向き合い、子どもの将来を考えて保護者の経験から、大切な子どもたちが社会で生き抜くために必要な社会性を伝えた事例です。

家庭で教えるべき教育は、保護者が学びながら伝えてきたという現状から、まさにPTAからの発信に相応しいといえるので、この事例集を出版する経緯となりました。

そして、家庭教育から社会教育へと繋がっていく、子どもたちが社会で生き抜くことが出来る教育の原点を私たちが保護者が担っているという思いのもと、一読いたいただきましたら幸いです。

## 国内研修事業 in 渡嘉敷村

実行委員長

疋田 啓一

# 「子どもたちのやる気スイッチ」



合言葉は「チャレンジ」! 素晴らしい人々、平和、文化、自然、天気に恵まれ、全国より、111名の



中学2年生、国立青少年教育振興機構2名、看護師2名、カメラマン1名、旅行社1名、日本PTA引率者6名の計123名が参加して4泊5日の研修事業を開催いたしました。

公益社団法人日本PTA全国協議会では、次世代を担う子どもたちが集団行動を通して、コミュニケーション能力

や他者への理解を高めるとともに、体験活動を通じて社会環境や自然環境への視野を広め、全国や地域で活躍できる人材の育成事業として取り組んでおり、今年度で4回目の沖縄での研修事業となりました。

また、沖縄大学の教員を志す学生13名が各班のリーダーとして子どもたちと共に汗を



流し、涙し、共に笑い、感動し、多くのことを学んだと感じます。今後の地域社会での活躍を祈念いたします。

全国各地より、沖縄に! 子どもたちに笑顔はなく、班分け、自己紹介、不安げな子どもたち。「1人になる子どもを作らないこと」ひとつだけお願いをし、いよいよ研修がスタートです。昨年も参加しましたが、子どもたちの「やる気スイッチ」はいつなのだろうか?? スイッチを押すのは誰なのだろうか? 子どもたち同様に不安な気持ちでした。

初日、入村式、国立青少年教育振興機構の北見さんのアイスブレイク、そして、1回目の「チャレンジ」、北見さんの言葉に子どもたちの心が引き込まれていくのを感じました。夜のスタッフミーティングで各班のリーダー、看護師が子どもたちの様子(検温、体調、状況)を伝えてくれます。班の中でリーダーシップをとる子、まだまだ馴染めない子、不安げな子、友達ができな子など、さまざまでした。

2日目、平和学習(沖縄戦、集団自決)、野外炊事、海洋研修と進む中、集団活動の輪、友情が芽生えてきました。全員で発する「チャレンジ」の言葉、回を重ねるごとに子どもたちの表情が変わっていき

ます。3日目、村内探索、ワーク

3日目、村内探索、ワーク

ショップ、大交流会、ワークショップでは三線、慶良間太鼓、フラダンス、魚さばき、サーターアンダギー作り、エイサーなど、島の文化、自然に触れいろんなことを学びました。大交流会では、ワークショップで習ったことを子どもたちが発表してくれました。最後にみんながエイサーです。このころから子どもたちの表情が一変しました。「やる気スイッチ」が入った!

4日目、昨夜はテント泊、目が覚めると素晴らしい太陽と海が広がっています。渡嘉敷村最後の日です。「帰りたいくない」、「この子と離れたくない」と4日前に会ったばかりですが、友情が生まれたことを感じました。退村式を終え、フェリーに。5色の紙テープがフェリーと海岸を彩ります。渡嘉敷村の皆さんへのおもてなしに「ありがとう」、「また来るね」と離れていく島、島人への感謝の気持ちが生まれたと感じます。

帰りのフェリーは、台風3号の影響でかなりの波、気分が悪い子もでてきましたが、

みんなが優しい言葉をかけていました。渡嘉敷村を離れ、糸満少年自然の家に着きました。班活動も最後の夜をむかえました。いろんな想いの子どもたち、最後の夜にすすり泣く声も聞こえてきます。

最終日、4泊5日で学習したこと、友情、絆、いろんな想いが込みあがってくる子どもたち、那覇空港に空港順に見送り、泣きながら「またね」、「絶対次会おうね」、「連絡するよ」将来にわたっての親友との出会いがあったのではと感じました。

この研修を通して、子どもたちの成長と頑張る姿に改めて子どもたちの素晴らしさを実感させていただきました。

この研修で培ったことを各地域に持ち帰り、いろんな場面で生かして、活躍していただきたいと思えます。

生活環境、家庭環境はさまざまですが、「やる気スイッチ」を入れる人、場面、場所は異なりますが、子どもたちはいろんな可能性を持っています。私たちが、その支えとなり、指導していきたいと思えます。皆様の今後の活躍を祈念いたします。

明日に向かって、今の自分を超越するためにみんなで「チャレンジ」です。

最後に、ご協力いただきました皆様にご心より感謝いたします。

## 国内研修事業 in 渡嘉敷村

青少年の国内交流及び国際交流を目的とした本事業は、昨年度と同じく沖縄県渡嘉敷村にて「国内研修事業」を執り行います。沖縄県青少年交流の家と渡嘉敷島の島民皆さんの全面協力のもと、平和や琉球文化について学び、雄大な自然にふれ参加生徒たちが自分と向き合いチャレンジを続けるプログラムを開催します。是非ご期待ください。

### 平成30年度日本PTA国内研修事業実施要項

- 実施事業**  
平成30年度は、青少年の国内交流及び国際交流(定款第4条3項)に基づき、全国の中学2年生男女を対象に国内の青少年施設において、集団宿泊を通して、コミュニケーション能力や他者への理解を高めるとともに、体験活動を通じて社会環境や自然環境への視野を広めるための「研修事業」を行う。
- 目的**  
○沖縄県、渡嘉敷村の方々と交流を通じて、多様な文化、平和について理解を深め、多くの人々と共に生きていくための資質や能力を育成する。  
○渡嘉敷村の発展、自然を保護するために活動する人々から学ぶことから、地域活動の重要性と環境保護を考える機会とする。

- 主催**  
○沖縄県青少年交流の家での集団宿泊活動を通じて、全国から集まる中学生が相互に交流し、友情を深める。  
公益社団法人 日本PTA全国協議会
- 協力**  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構、国立沖縄青少年交流の家、沖縄県立糸満青少年の家、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会、渡嘉敷小中学校PTA、渡嘉敷村内住民及び中学生、一般社団法人 沖縄県PTA連合会

- 後援**  
文部科学省(予定)  
未定(受注型企画旅行業務契約締結)
- 実施期間**  
平成31年3月27日(水)~3月31日(日)  
4泊5日

- 対象者**  
地方協議会が推薦する中学2年生の男女各1名とする。





第66回日本PTA全国研究大会  
平成30年8月24日(金)~25日(土)

# 新潟大会



新潟大会感謝状が授与されました  
(右) 田中一昭 実行副委員長



平石祥吉 実行委員長



東川勝哉 会長



会場に全国のPTA会員約7,500名が集結



記念講演 俳優・高橋克実氏



復興大臣 吉野正芳氏



文部科学大臣政務官 宮川典子氏



去る8月24・25日、第66回日本PTA全国研究大会新潟大会が開催されました。

平成最後の、日本PTA70周年の記念すべき年の大会として、文部科学大臣政務官 宮川典子様をはじめとする多くのご来賓にご臨席を賜り、また全国より7500名を超えるPTAの皆様にご参加いただき、無事盛況に終えることができました。改めてご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。本大会は、新潟県小中学校PTA連合会、新潟市小中学校PTA連合会の共催で、3年前から準備を進めて参りました。

次代の全国研究大会の在り方も考えながら、「新潟県はひとつ」の合言葉で様々な苦難を乗り越え、当日を迎えることができました。

「教育は未来を拓く、新潟発 米百俵の精神！」

「米百俵の精神」を継承し、先人の想いを現在の我々に置き換え、家庭、学校、地域の連携を再確認する



大会旗が新潟県・新潟市から兵庫県へ引き継がれました



新潟市長 篠田昭氏



長岡市長 磯田達伸氏

## 第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会

### 大会予定名

『第67回日本PTA全国研究大会』

兵庫大会

### 開催予定日

2019年8月23日(金)・24日(土)

### 大会予定会場

全体会：ワールド記念ホール 分科会：兵庫県内10会場



また特別第2分科会では初めての取組として「ワールドカフェ形式」による参加者全員の自由な意見交流が行われ、例年とは違った盛り上がりもありました。

来年は兵庫大会となります。結果ではなく、開催までのプロセスが重要であることを、歴代の開催地の皆様の熱い想いとともに伝えながら、兵庫の仲間をサポートしていきます。



新潟県副知事 溝口洋氏

身の経験から、大人に改めて夢の大切さを知ってほしい、大人として自分自身を振り返りながら子どもたちの動機づけになるよう行動してほしいなどの強い願いを語られ、私たちが非常に考えさせられる内容だったと思

この申し込み用紙をコピーしてお申し込みください。1,700円(税込)、送料サービスです。

# 改訂版 PTA 今すぐ役立つ CD付 応援マニュアル

監修 濱田 博文 筑波大学教授 著作 公益社団法人日本PTA全国協議会  
**挨拶文例・各種案内文のデータ収録CD付!**  
 様々な場面を想定した挨拶文例と、各種会合等の案内フォーマットのデータをCDに収録! 編集して使えるので、手軽に役立ててとても便利!

**応援します!**  
**PTA活動**  
 ■ はじめてPTA会員になったけど...?  
 ■ 今すぐ役立つ情報満載  
 ■ こんな時どうする...  
 PTA Now & Do

**役員、委員になっただけど**  
 ■ 挨拶で困らない...  
 ■ 挨拶モデル文例 多数掲載  
 ・入学式・卒業式・委員会・地域行事等  
 ■ すぐに作れます...  
 行事文書フォーマット 多数掲載

- 監修 濱田 博文 筑波大学教授
- 著作 公益社団法人 日本PTA全国協議会
- ◆ A 4 変型判
- ◆ 262ページ オールカラー イラスト多数
- ◆ 価格 本体1,700円 (PTA会員価格)
- ◆ ISBN 978-4-86371-473-1

**主な内容**  
 第1章 日本PTAってどんな団体  
 ● 日本PTAに求められる役割と期待 ● 日本PTAの現状と課題 ● 他  
 第2章 PTAの基礎知識  
 ● PTAを知ろう ● 他  
 ● やってみようPTA活動 ● こんな時どうする ● 他  
 第3章 PTA Now & Do  
 ● 仕事を分担する工夫 ● PTA参加のメリット ● 会議の効率化の工夫 ● 他

- 著作 公益社団法人 日本PTA全国協議会
- ◆ A 4 変型判
- ◆ 210ページ 2色印刷
- ◆ 価格 本体1,700円 (PTA会員価格)
- ◆ ISBN 978-4-86371-478-8

**主な内容**  
 第1章 大人の姿を...、子どもの姿に...  
 第2章 つないでいく...、伝えていく...  
 第3章 家族のなかで...、社会のなかで...  
 第4章 子どもと共に...、親子で互いに...  
 第5章 向き合って...、寄り添って...  
 第6章 その成長を...、頑張りを...  
 第7章 反省をして...、認めて...  
 第8章 食から...、自然から...  
 第9章 多くの人が...、多くの人と...  
 第10章 将来を見つめて...、夢に向かって...

申込書 FAX 03-5282-7892

今すぐ役立つ PTA 応援マニュアル

お名前 単位 P T A 等	お届け先	〒	—	—	冊
お住所	※どちらかに○をつけてください	〒	—	—	
ご担当者名	見積書・納品書・請求書・その他( )	〒	—	—	
	※必要な書類に○をつけてください	〒	—	—	

お客様の個人情報は、書籍の発送、有用な情報のお届け、その他正当な目的のために利用いたします。

お問い合わせ先

お名前 単位 P T A 等	お届け先	〒	—	—	冊
お住所	※どちらかに○をつけてください	〒	—	—	
ご担当者名	見積書・納品書・請求書・その他( )	〒	—	—	
	※必要な書類に○をつけてください	〒	—	—	

公益社団法人 日本PTA全国協議会  
 〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-38 FAX 03-5545-7152  
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 5号棟第2ビル FAX 03-5282-7892  
 E-mail info@kyoikushinsha.co.jp http://www.kyoikushinsha.co.jp/

問合先

公益社団法人 日本PTA全国協議会  
 ジェアース 教育新社

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-38 FAX 03-5545-7152  
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 5号棟第2ビル FAX 03-5282-7892  
 E-mail info@kyoikushinsha.co.jp http://www.kyoikushinsha.co.jp/



この申し込み用紙をコピーしてお申し込みください。1,700円(税込)、送料サービスです。

# 創立70周年記念出版 PTA わが家の子育て ~悩める子育て 楽しい子育て~

著作 公益社団法人日本PTA全国協議会

共に学び、共に乗りこえ、共に生きる！  
 信じること、待つこと、迷っていたら話を  
 聴くこと、そして私自身が人生を楽しむこ  
 と、私が親として、一人の人間として大切に  
 にしていること  
 (本文より抜粋)

第1章 大人の姿を...、子どもの姿に...  
 第2章 つないでいく...、伝えていく...  
 第3章 家族のなかで...、社会のなかで...  
 第4章 子どもと共に...、親子で互いに...  
 第5章 向き合って...、寄り添って...  
 第6章 その成長を...、頑張りを...  
 第7章 反省をして...、認めて...  
 第8章 食から...、自然から...  
 第9章 多くの人が...、多くの人と...  
 第10章 将来を見つめて...、夢に向かって...

申込書 FAX 03-5282-7892

PTA わが家の子育て ~悩める子育て 楽しい子育て~

お名前 単位 P T A 等	お届け先	〒	—	—	冊
お住所	※どちらかに○をつけてください	〒	—	—	
ご担当者名	見積書・納品書・請求書・その他( )	〒	—	—	
	※必要な書類に○をつけてください	〒	—	—	

お客様の個人情報は、書籍の発送、有用な情報のお届け、その他正当な目的のために利用いたします。

お問い合わせ先

お名前 単位 P T A 等	お届け先	〒	—	—	冊
お住所	※どちらかに○をつけてください	〒	—	—	
ご担当者名	見積書・納品書・請求書・その他( )	〒	—	—	
	※必要な書類に○をつけてください	〒	—	—	

公益社団法人 日本PTA全国協議会  
 ジェアース 教育新社

